

看護師として働く場所は、一つじゃない

看護師として働く場所は一つではありません。介護施設や訪問看護など、それぞれの現場で人の暮らしに寄り添う看護があります。病院以外で活躍する2人に、それぞれの職場ならではの魅力ややりがい、看護への思いについて伺いました

長く寄り添う介護の場だからこそ できる看護

特別養護老人ホーム あじさい苑

なが おみなみ
長尾 愛美さん

介護施設で働くという選択

看護師というと大きな病院で働くイメージが強いかもしれませんが、しかし実際は、地域のクリニックや訪問看護、介護・福祉関係の施設など、活躍の場はさまざまです。看護師の資格があれば、自分に合った働き方や職場を選べることで、そこが看護師の大きな魅力だと思います。

私自身、現在の特別養護老人ホームで働く前は病院に勤務していました。退職後に次の仕事を考える中で、今度は病院とは違った環境で働いてみたいと思い、介護施設の道を選びました。自分に合った職場を見つけることは、看護の仕事を長く続けるためにも大切だと感じています。



profile

修了課程
大学の看護学科

看護師歴
8年目

看護師を志した理由
人を支える仕事に医療の面から関わりたいと思った

「生活の場」だからこそ、 病院とは違う魅力がある

病院と介護施設の大きな違いは、そこが治療を行う場所か、生活を送る場所かということですが、例えば、食事を取ることが難しくなった利用者さんがいた場合、病院では治療を優先して点滴へ切り替えることがあります。一方で介護施設では、安全面に十分配慮しながら、少しでも食事を楽しめる方法がないかを考えます。

介護施設で働く看護師は、病気やけがの処置だけでなく、限られた身体機能の中で、利用者さんが安全に安心して生活できる方法を考えることも大切な役割です。

また、介護施設は利用者さんが長い時間を過ごす場所でもあります。中には10年以上利用されるこ

介護施設での 役割とは

利用者の健康状態を見守り、病気やけがの処置を行うだけでなく、安心して日常生活を送れるよう、介護職などと連携しながら利用者を支える



利用者の経管栄養を管理。他にも日々のコミュニケーションを通じて小さな体調の変化にも目を向ける

とも。そのためコミュニケーションを取る機会が多く、その人らしい生活を支えるための関わりを積み重ねることができま。新年には「今年もよろしくお願います」とあいさつを交わし、日々の会話の中で笑顔に触れる機会も少なくありません。利用者さん一人一人に寄り添いながら、その人らしい暮らしを長く支えられ、それが、介護施設で働く看護師ならではのやりがいや魅力だと感じています。